

LINTEC Corporation

# 機関投資家・アナリスト向け 会社説明資料

リンテック株式会社

プライム市場 | 7966

2026年5月8日

**LSV 2030**  
LINTEC SUSTAINABILITY VISION  
Stage 2 

## 目次

<b>01</b>	<b>リンテックの概要</b>	<b>P3</b>
<b>02</b>	<b>セグメント情報</b>	<b>P13</b>
<b>03</b>	<b>連結業績</b>	<b>P32</b>
<b>04</b>	<b>株主還元</b>	<b>P37</b>
<b>05</b>	<b>長期ビジョン、中期経営計画</b>	<b>P39</b>

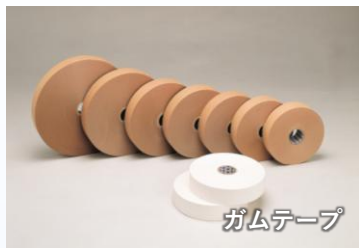
# 01

## リンテックの概要

## 会社概要

# LINTEC Corporation

社名	リンテック株式会社（英文：LINTEC Corporation）
本社	東京都板橋区
証券コード	7966（東証プライム市場）
設立	1934年（昭和9年）10月15日
資本金	233億円（26年3月末）
従業員数	連結：5,237人（26年3月末）
売上高	連結：3,194億円（26年3月期）
事業内容	粘着製品、粘着関連機器、特殊紙、剥離紙・剥離フィルムなどの開発・製造・販売
事業拠点	国内連結子会社：3社 海外連結子会社：37社



ガムテープメーカー  
不二紙工株式会社設立 (東京・板橋)

FSK株式会社に  
商号変更



マディコ社 (米国)  
を買収



光学ディスプレイ  
関連分野に本格参入

1927 1934 1960 1984 1986 1987 1990 1991

不二商会を創立し、  
包装用ガムテープの  
製造・販売を開始



ラベル用粘着紙・  
粘着フィルムの  
製造・販売を開始

以降、二輪・自動車、屋外  
装飾関連などの工業分野に  
粘着事業を拡大

UV硬化型ダイシングテープ  
を開発し、半導体関連分野  
に本格参入



四国製紙、創研化工と3社合併  
「リントック株式会社」に商号  
変更

特殊紙、剥離紙・剥離フィルムから粘着紙・  
粘着フィルム、関連機器分野にまで業容を拡大

リンテック・  
インドネシア社  
を設立



琳得科 (蘇州)  
科技有限公司  
を設立



リンテック・  
タイランド社  
を設立



マックタック・  
アメリカ社  
を買収

同業メーカーの事業を  
譲り受け、スピネカー社  
(米国) を設立

後にマックタック・アメリカ社  
の子会社に統合

1994

2000

2002

2004

2011

2013

2015

2016

2021

2022

2023

リンテック・インダストリーズ  
(マレーシア) 社を設立

リンテック・コリア社  
を設立

ナノサイエンス&  
テクノロジー  
センター (米国)  
を開設

研究所に先端技術  
棟を建設

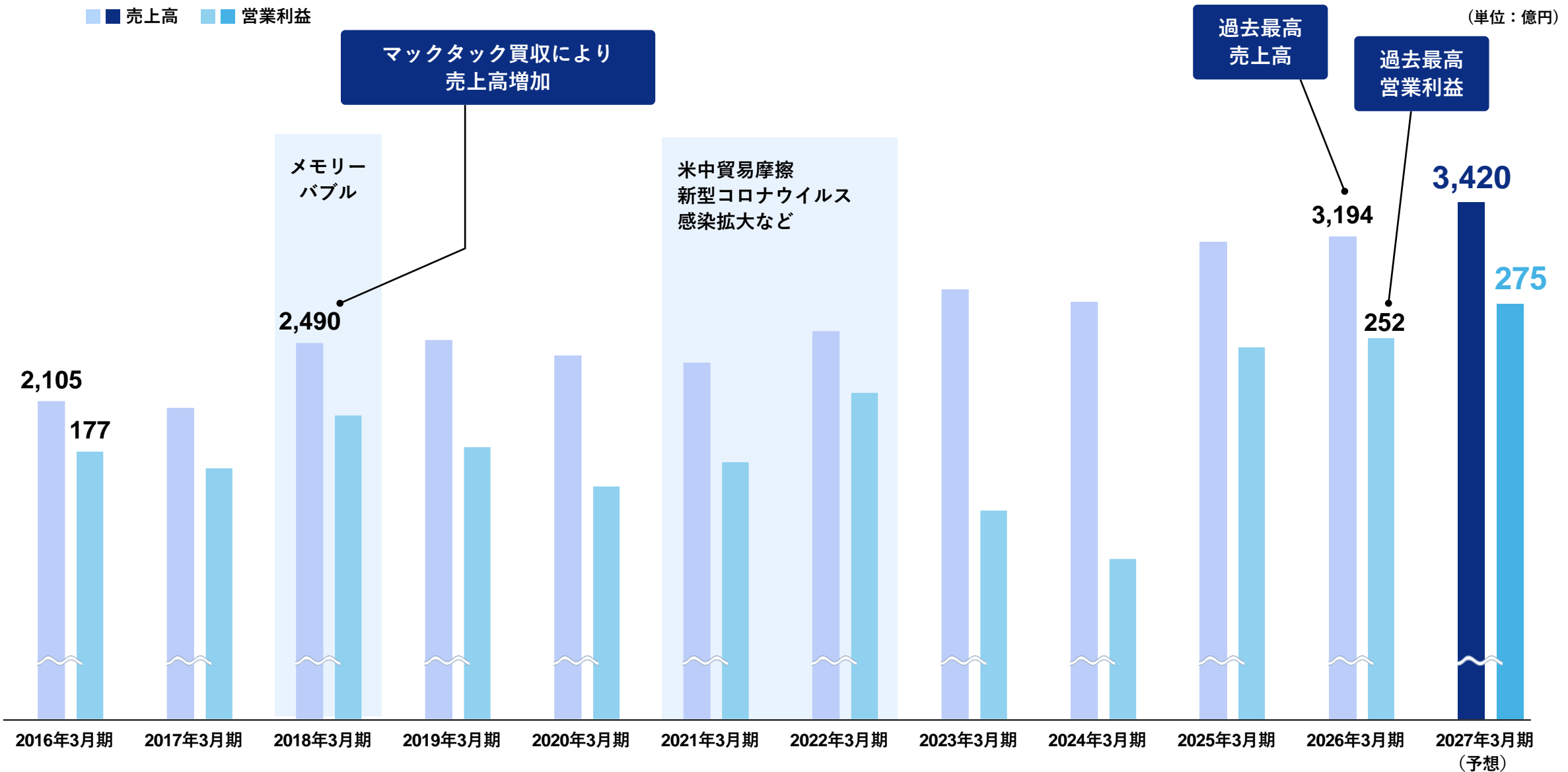


ラベルサプライ社  
(カナダ) の事業を  
買収

デュラマーク社 (米国) を買収  
後にマックタック・アメリカ社の子会社に統合

■ 売上高 ■ 営業利益

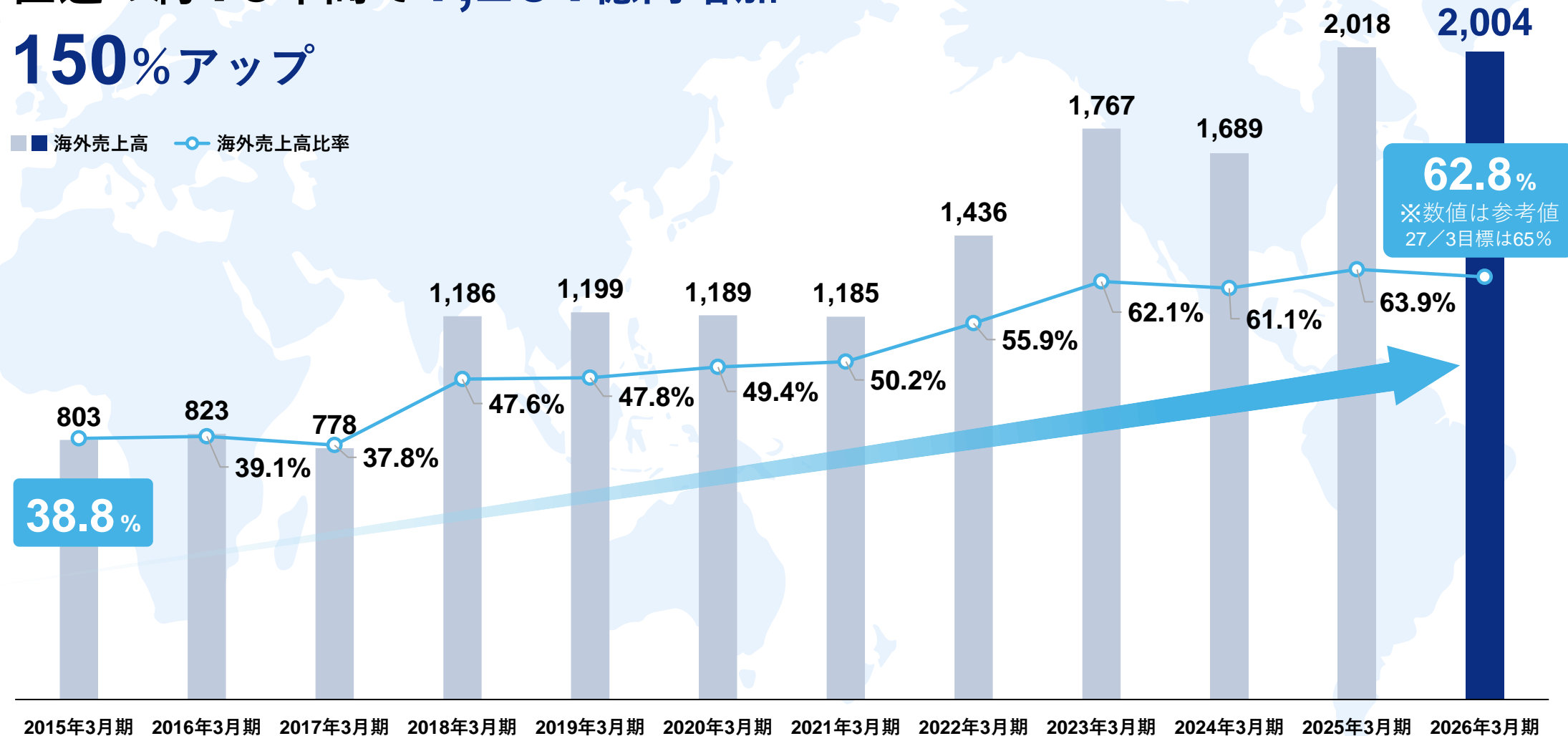
(単位：億円)



(単位：億円)

直近の約10年間で1,201億円増加  
150%アップ

■ 海外売上高    ● 海外売上高比率



## ① 表面基材（紙・フィルム）

表面加工  
印刷・印字適性、耐久性など



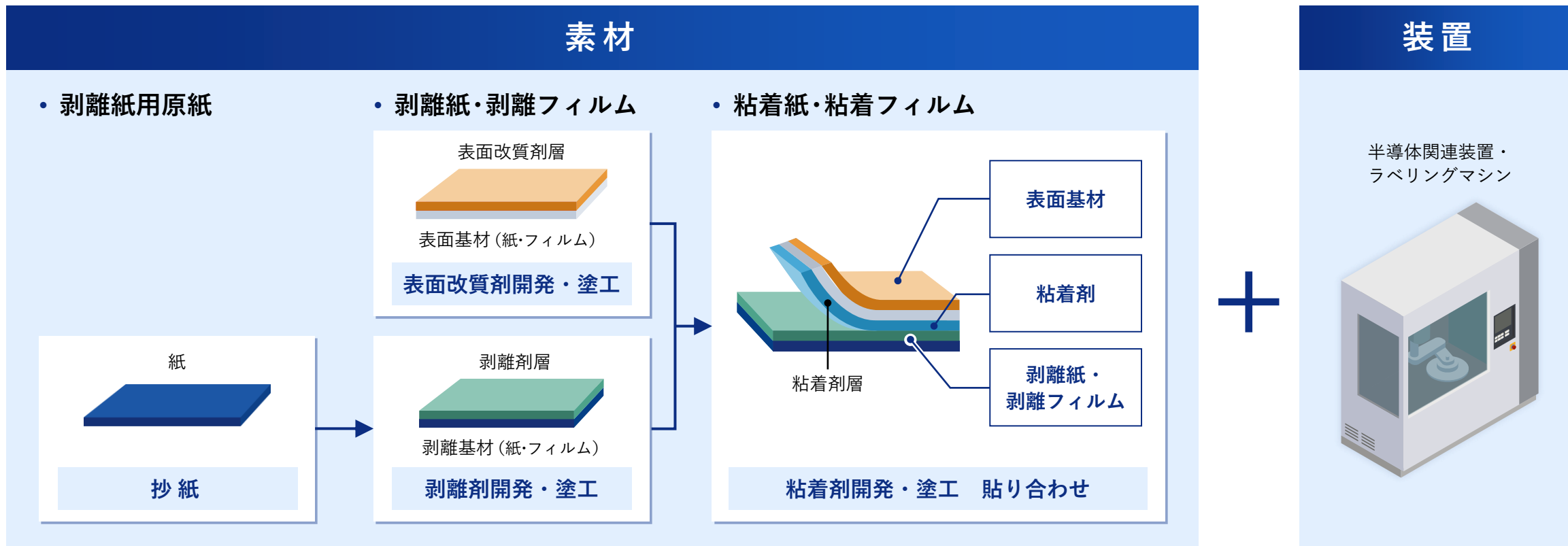
## ② 粘着剤

## ③ 剥離紙・剥離フィルム

# トータルに 自社技術で対応



- 剥離紙用原紙の生産から紙・フィルムへの剥離剤の開発・塗工、粘着剤の開発・塗工、表面基材の改質加工まで、粘着製品の一貫生産体制を構築
- 粘着製品の特徴を最大限に引き出す関連装置も開発・生産することで、素材と装置のトータルソリューションを提供



素材と装置のトータルソリューションを提供

# 1

## 粘着応用技術

粘着剤、各種基材の開発  
およびその複合技術によ  
り、「貼る」「剥がす」  
という粘着製品の基本機  
能の応用領域を拡大

# 2

## 表面改質技術

紙やフィルムの表面に化  
学的・物理的処理を施す  
ことでその性能を向上、  
または新たな機能を付与

# 3

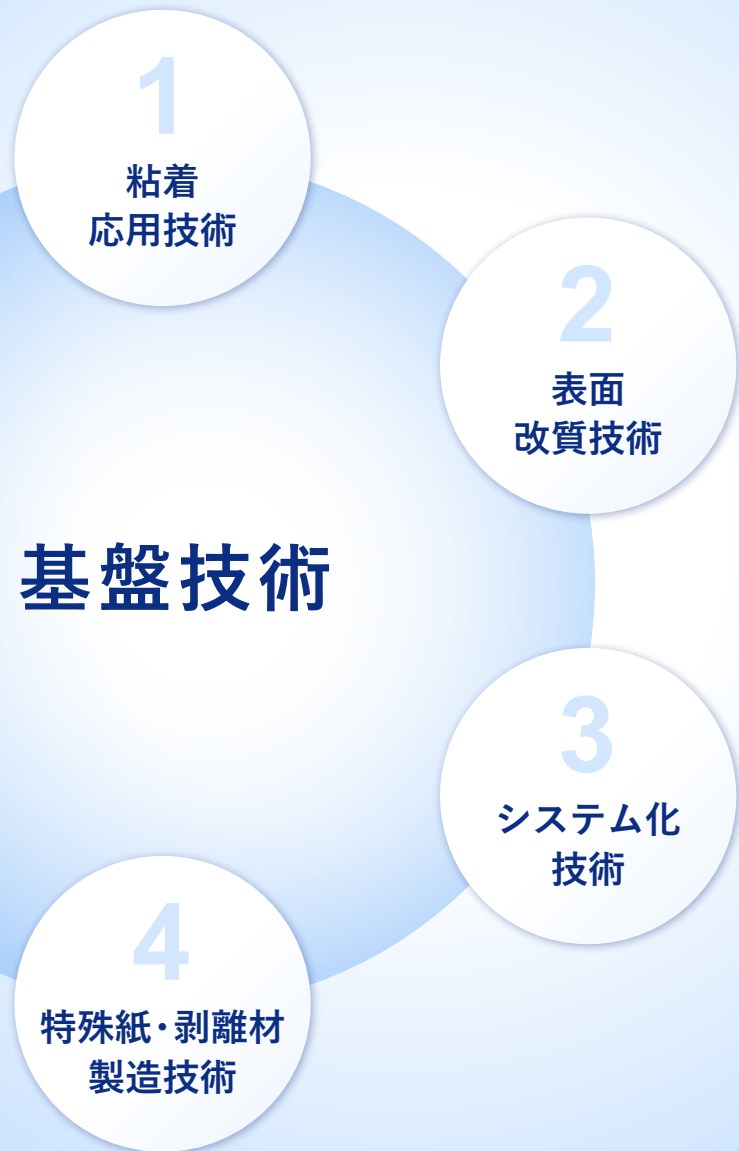
## システム化 技術

機械・装置のシステム化  
をはじめ、素材の特性を  
生かした高度なシステム  
構築で先進のソリューシ  
ョンを提案

# 4

## 特殊紙・剥離材 製造技術

独自の抄紙技術や塗工・  
含浸・貼合技術などを駆  
使し、従来の紙の概念を  
超える機能紙や高付加価  
値材を開発



## 印刷材・産業工材関連

印刷情報材事業部門

産業工材事業部門



## 電子・光学関連

アドバンストマテリアルズ事業部門

オプティカル材事業部門



## 洋紙・加工材関連

洋紙事業部門

加工材事業部門



# 02

## セグメント情報

# 印刷情報材 事業部門

## ラベル用粘着紙・粘着フィルム

- 粘着剤によって、永久接着タイプ・再剥離タイプ・再貼付タイプに分けられる
- 印刷・印字適性、耐久性、耐熱性、耐水性、低温適性、曲面貼付性、寸法安定性、意匠性などに優れ、さまざまな用途や使用環境に対応

当事業部門売上高

**1,455**億円  
**45.6%**

商流



当社



シール・ラベル  
印刷加工会社



エンドユーザー



2026年3月期  
連結売上高

**3,194**億円

## ■ ラベル用粘着紙・粘着フィルムの用途／主な要求性能

### 粘着紙が中心

#### 食品・飲料関連



- 耐水性
- 曲面貼付性
- 低温適性 など

#### 流通・通販関連



- 印字適性
- 捺印適性
- 低温適性 など

### 粘着フィルムが中心

#### 日用品関連



- 耐水性
- 曲面貼付性
- 意匠性 など

#### 医療・医薬関連



- 印刷・印字適性
- 耐薬品性
- 改ざん防止機能 など

#### 自動車関連



- 耐油・耐水性
- 耐久性
- 耐熱性 など

#### 家電関連



- 耐久性
- 耐熱性
- ガス透過性 など

## ■ マックタック・アメリカ社

- 北米のラベル用粘着製品市場第3位のメーカーで、同市場への本格参入のため、2016年12月に約340億円で買収
- のれん約300億円（10年償却）
- 生産能力増強のため、2021年4月に同業のデュラマーク社を約65億円で買収
- 事業領域拡大のため、2022年2月に同業メーカーから約45億円で事業を譲り受け、スピネカー社を設立
- カナダ市場での販売網拡大のため、2023年5月に同業のラベルサプライ社の事業を約70億円で買収



◀ 環境負荷低減に貢献する  
ホットメルト粘着技術を保有

創業	1959年
所在地	米国 オハイオ州
従業員数	1,018人（2025年3月末時点）
事業内容	印刷用ラベル素材、可変情報ラベル素材、グラフィックシート、工業用テープ、医療用テープなどの製造・販売

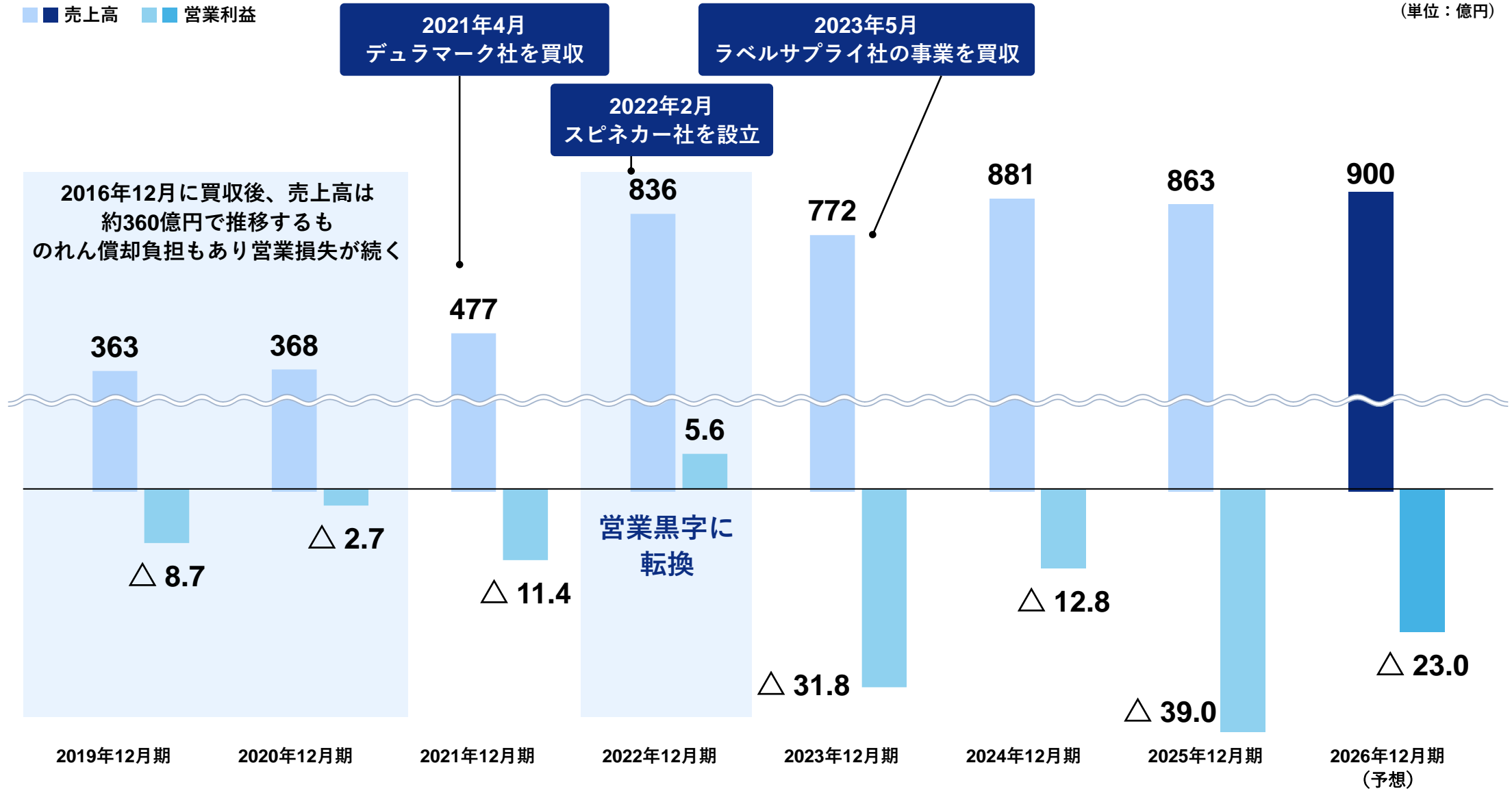


- 2020年代以降、米国子会社のマックタック・アメリカ社は相次ぎ買収を実施
- 生産能力や事業基盤などを拡大し、成長が続く米国ラベル市場で一定の地位を確立



(単位：億円)

■ 売上高 ■ 営業利益



印刷材・産業工材関連

# 産業工材 事業部門

当事業部門売上高

**371**億円  
**11.6%**

2026年3月期  
連結売上高

**3,194**億円

ウインドーフィルム（建物用・自動車用）

サイン・広告・内装用化粧フィルム

自動車用粘着製品

工業用粘着テープ

ラベリングマシン・バーコードプリンタ

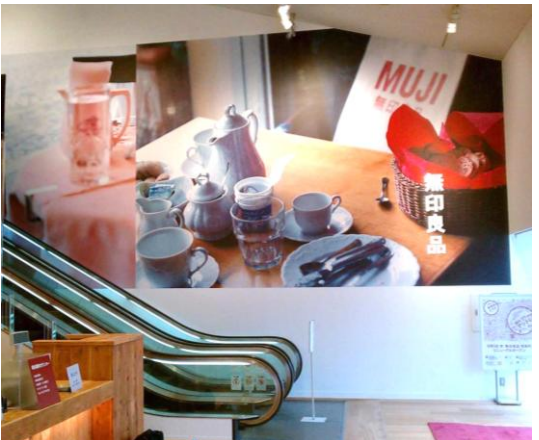
など



建物用ウインドーフィルム



自動車用ウインドーフィルム



サイン・広告・内装用化粧フィルム

## ■ 産業工材事業部門の主な製品・特徴

## 建物用ウィンドーフィルム



- ガラス飛散防止
- 日射調整
- 紫外線カット
- 防犯対策  
など

## 自動車用ウィンドーフィルム



- ガラス飛散防止
- 日射調整
- 紫外線カット  
など

## サイン・広告・内装用化粧フィルム



- 耐候性
- 施工適性
- 豊富な種類 など

## アルミホイール用保護フィルム



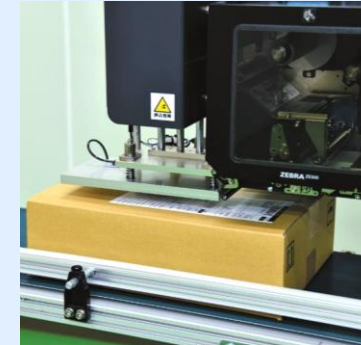
- 耐候性
- 再剥離性 など

## ドアサッシ用塗装代替フィルム



- 耐候性
- 施工適性 など

## ラベリングマシン



- 高速・効率化
- 作業性
- 自動化 など

## ■ マディコ社

- 当社グループが1987年に買収
- 建物用・自動車用ウインドーフィルムにおいて高いブランド力と北米地域を中心とする幅広い販売網を持ち、北米市場では約10%のシェアを有す
- 最近では防犯用のセキュリティーフィルムの需要が高く、米国5州の公共施設で採用に至る

創業	1903年
所在地	米国 フロリダ州
従業員数	192人 (2025年3月末時点)
売上高	110億円 (2024年12月期)
事業内容	ウインドーフィルム、特殊機能性フィルムなどの製造・販売



## ■ VDI社

- 当社グループが2016年に買収
- 金属の薄膜層をフィルムの表面に形成するメタライジング技術を有した機能性フィルムメーカー
- 最近では航空・宇宙産業用途でのスパッタリングフィルムの販売が大きく増加

創業	1971年
所在地	米国 ケンタッキー州
従業員数	31人 (2025年3月末時点)
事業内容	金属蒸着フィルム、スパッタリングフィルムなどの製造・販売 スパッタリング：真空中で金属や酸化物などに高エネルギーをかけて粒子化し、フィルムなどの表面に付着させること



電子・光学関連

# アドバンスト マテリアルズ 事業部門

当事業部門売上高  
**928億円**  
**29.0%**



## 半導体関連粘着テープ

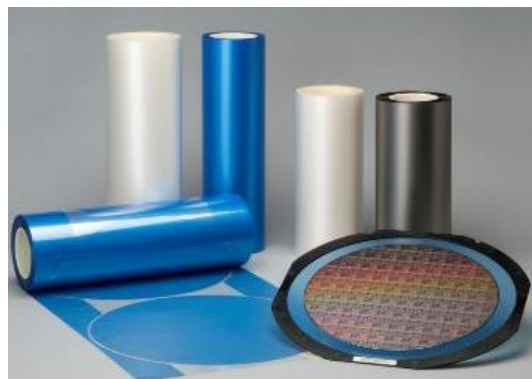
- バックグラインドテープ
- ダイシングテープ
- チップ裏面保護テープ
- ダイシング・ダイボンディングテープ

## 半導体関連装置

- ウェハマウンター
- テープラミネーター・リムーバー
- UV照射装置

## 積層セラミックコンデンサ関連テープ

など



半導体関連粘着テープ



半導体関連装置



積層セラミックコンデンサ関連テープ

## ■ 半導体の製造工程

■ : 当社テープ・装置を使用



## ■ 半導体関連粘着テープ／注力製品

## フリップチップ裏面保護テープ

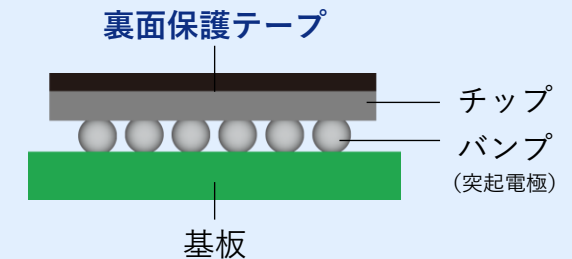
- 回路面にバンプを形成し、基板に接続するフリップチップの裏面を保護・補強するテープ

## 主な特徴

- 回路面への光透過を抑制し、回路面への悪影響を低減
- 液状モールド剤のコーティングと異なり、厚みの均一性に優れ、作業工程を簡略化
- 比較的低温での貼付が可能のため、熱による回路へのダメージを低減。当社貼付装置と組み合わせることで、より信頼性の高い製造ラインの構築に寄与
- ダイシングテープ一体型や赤外線を透過するタイプもラインアップ



## ▼ フリップチップ実装



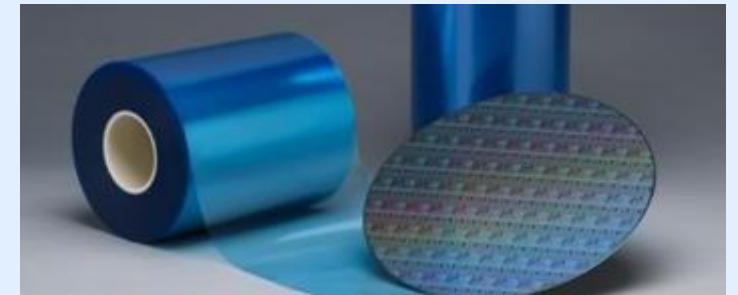
## ■ 半導体関連粘着テープ／注力製品

### SDBG用ウェハ表面保護テープ

#### ・ SDBGプロセス※でウェハの裏面を研削する際に回路面を保護するテープ

※SDBGは Stealth Dicing Before Grinding の略で、レーザーでウェハの内部に亀裂を形成したあと、裏面研削を行うプロセス技術。ブレードを使ったプロセスと比べ、1枚のウェハから取れるチップの個数が多く、強度の高いチップの生産が可能

※ステルスダイシングは浜松ホトニクス(株)が開発したレーザーダイシング技術です



#### 主な特徴

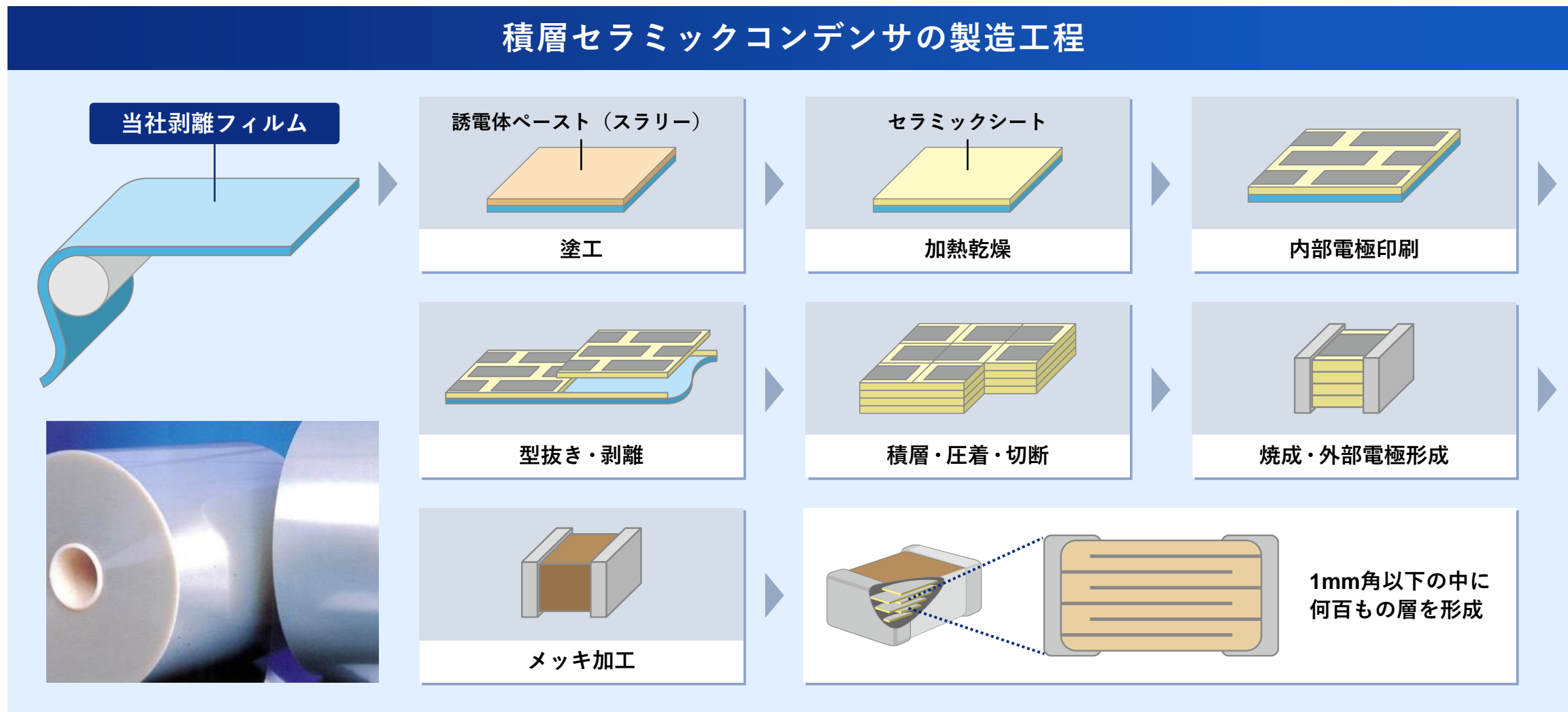
- ・ 高い粘着力でチップの飛散や研削水の浸入を防止
- ・ 裏面研削時のチップ破損を抑制
- ・ 厚さ30μm以下のチップの製造にも対応

#### ▼ SDBGを使用した半導体製造プロセス



■ 積層セラミックコンデンサ関連テープ

積層セラミックコンデンサの製造工程



電子・光学関連

# オプティカル材 事業部門

光学ディスプレイ関連粘着製品

タッチパネル関連製品

当事業部門売上高  
**79億円**  
2.5%



タッチパネル使用イメージ



光学ディスプレイ関連粘着製品

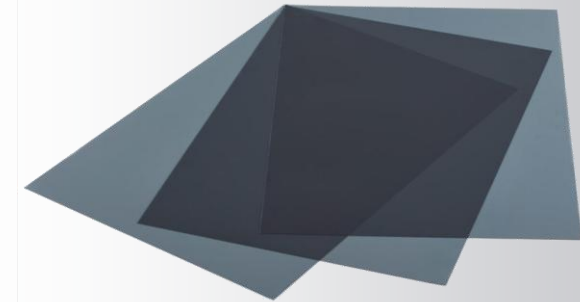
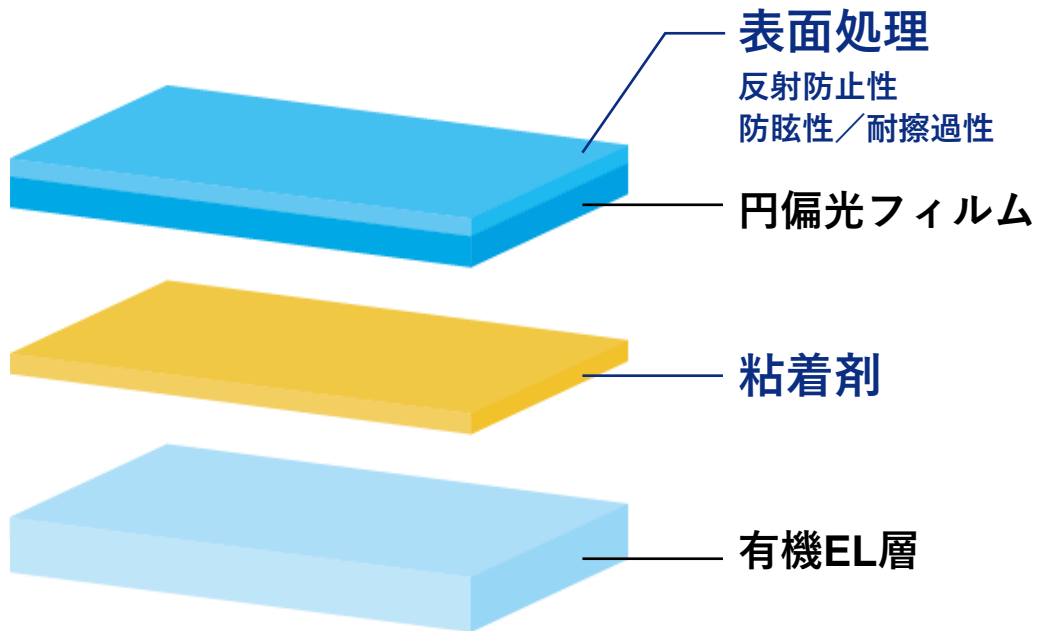


光学ディスプレイ関連粘着製品

## ■ 光学ディスプレイ関連粘着製品

スマートフォンやタブレット、大型テレビなど有機ELディスプレイの画像表示に欠かせない光学機能性フィルム向けの粘着製品

### ▼ OLEDディスプレイの構成



## ■ タッチパネル関連製品／注力製品

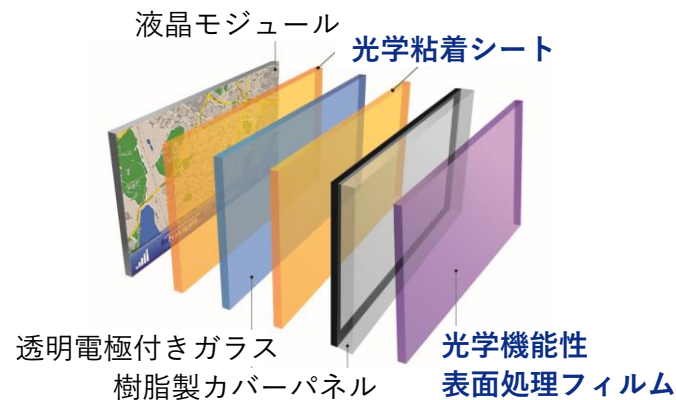
### 車載用光学粘着シート

- 車載用タッチパネルの貼合に使用される高機能光学両面粘着シート

#### 主な特徴

- 車載用途で求められる厳しい耐久性基準をクリア
- プラスチック樹脂から発散されるアウトガスを抑制

#### ▼ 車載用 タッチパネル の構成図



### 光拡散フィルム

- 入射した光を必要な方向へ効率良く、最適に拡散させる光学機能性フィルム
- バックライトを使わない反射型ディスプレイにおいて、従来よりも明るい画面表示を実現

#### ▼ 光拡散フィルムの採用事例



スマートウォッチ

自転車用  
GPSナビ

洋紙・加工材関連

# 洋紙事業部門

当事業部門売上高

**147**億円  
**4.6%**

2026年3月期  
連結売上高  
**3,194**億円

カラー封筒用紙

色画用紙

特殊機能紙（耐油耐水紙、無塵紙など）

高級印刷用紙

建材用紙

など



カラー封筒用紙



色画用紙



耐油耐水紙

洋紙・加工材関連

# 加工材 事業部門

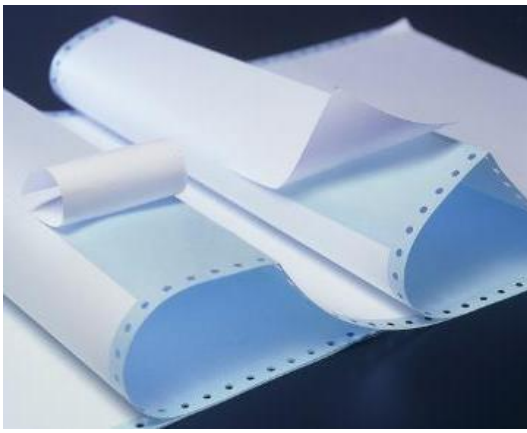
当事業部門売上高

**213億円**  
**6.7%**



- 粘着製品用剥離紙
- 電子材料用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

など



粘着製品用剥離紙



合成皮革用工程紙



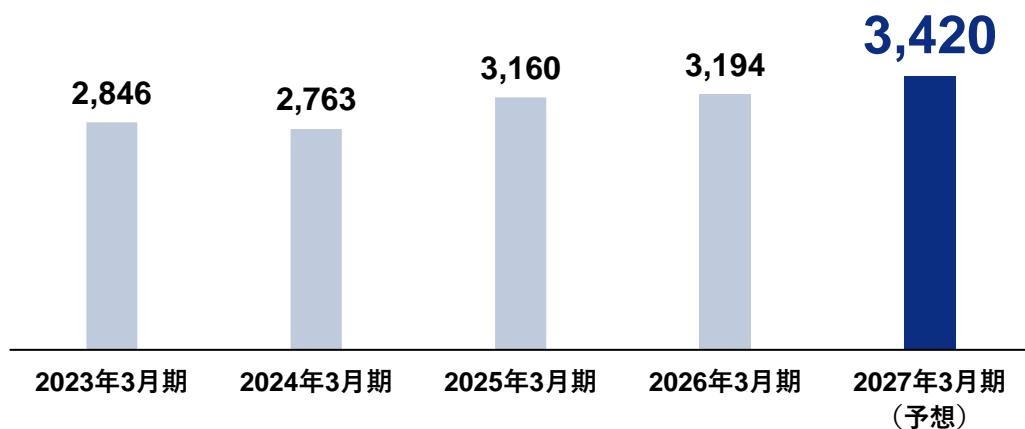
炭素繊維複合材料用工程紙

# 03

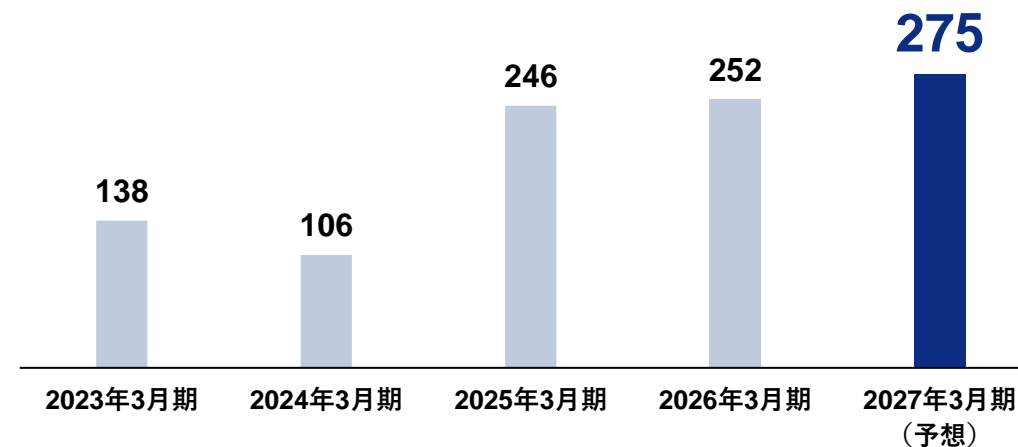
## 連結業績

(単位：億円)

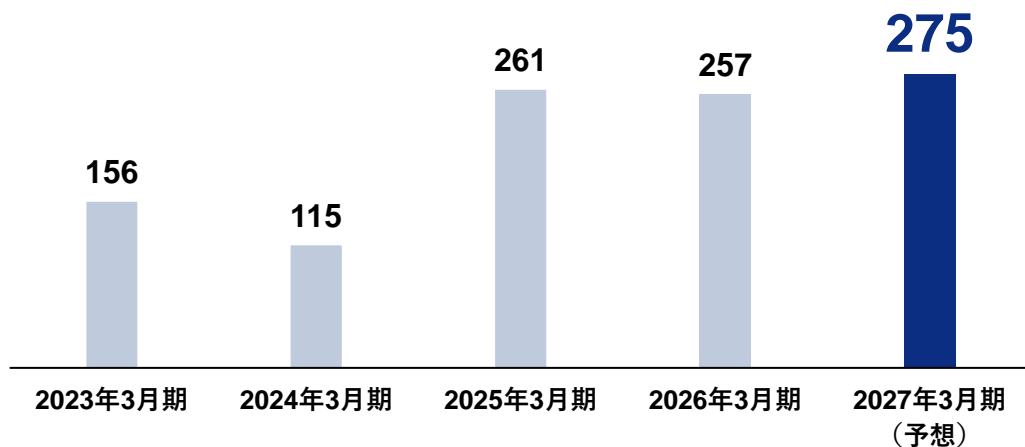
## 売上高



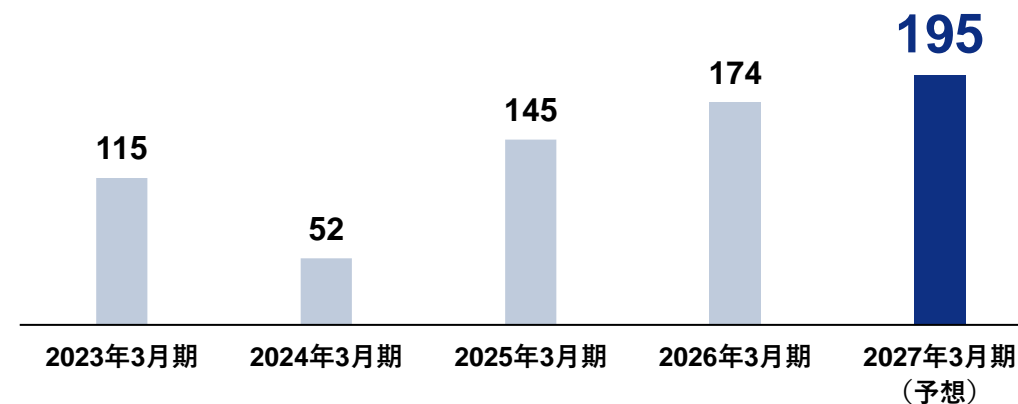
## 営業利益



## 経常利益

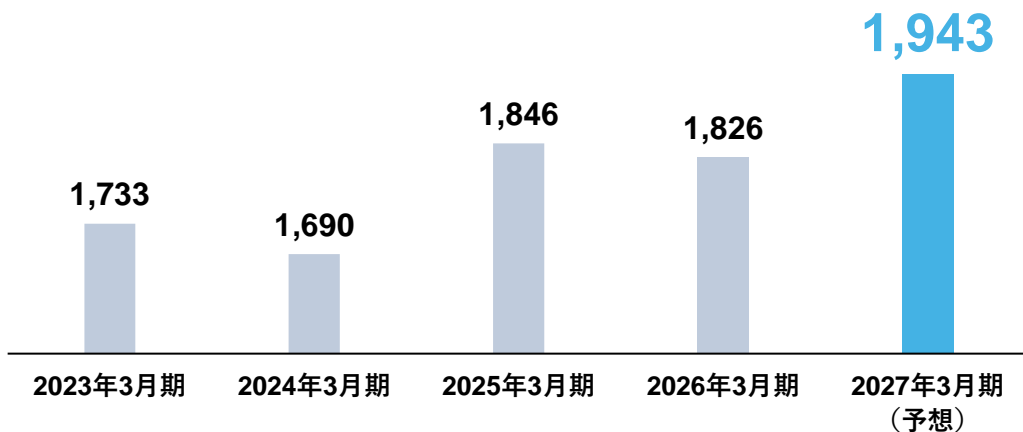


## 親会社株主に帰属する当期純利益

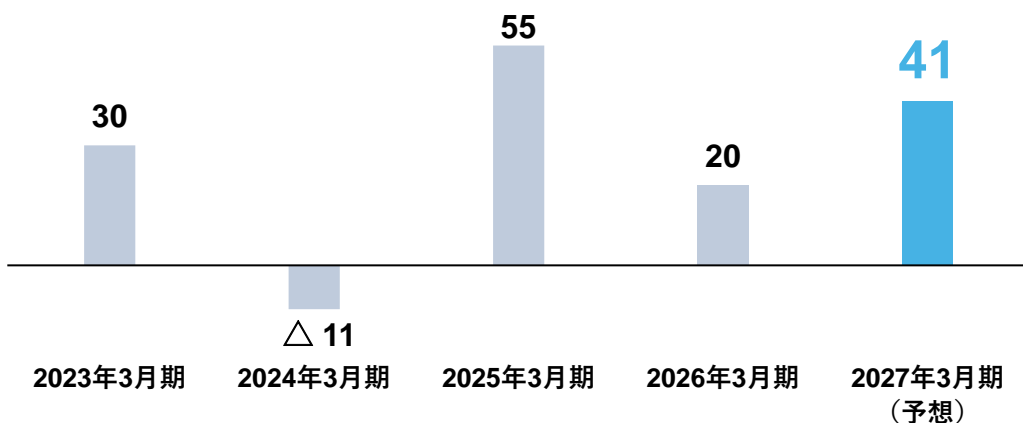


(単位：億円)

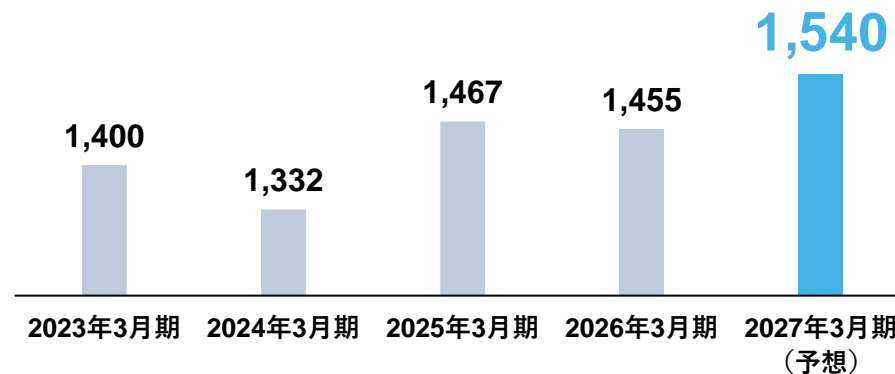
## セグメント売上高



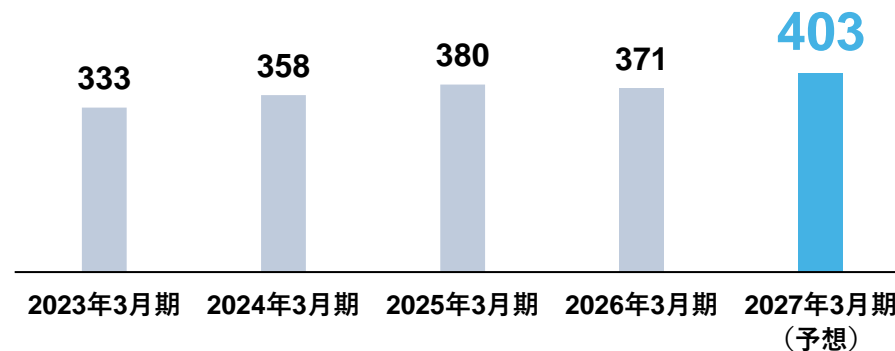
## セグメント営業利益



## 印刷情報材事業部門 売上高

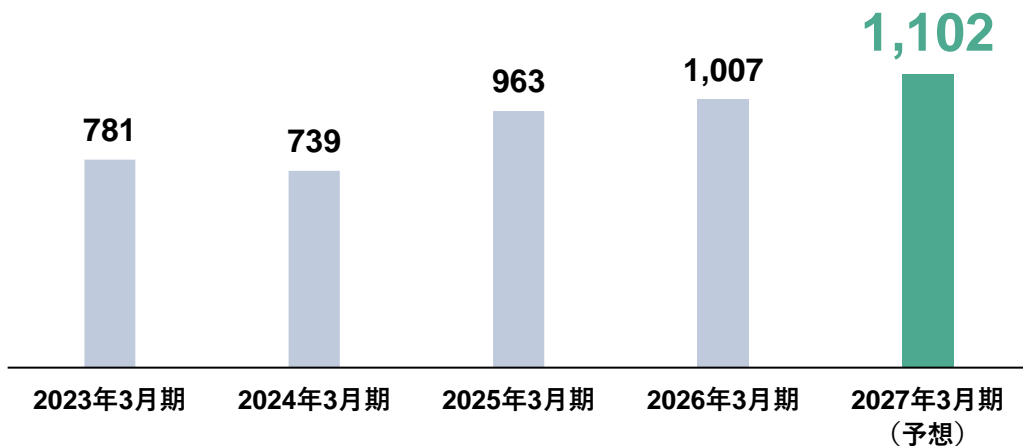


## 産業工材事業部門 売上高

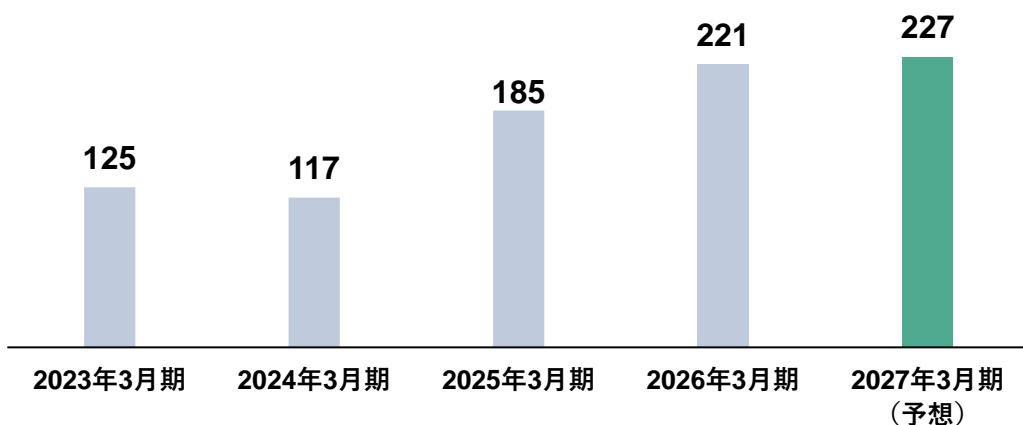


(単位：億円)

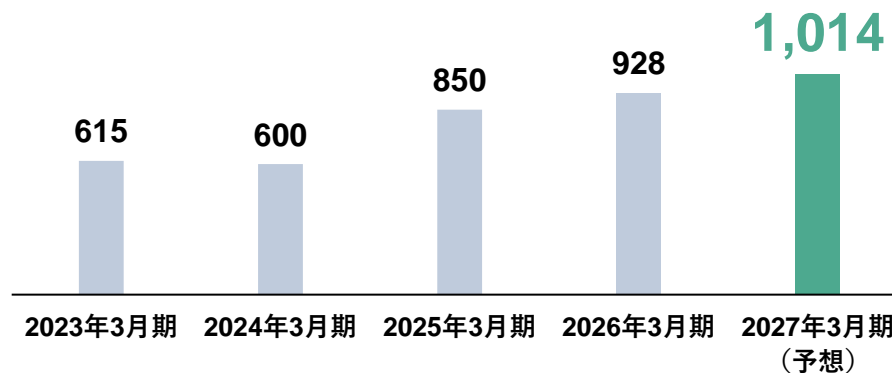
## セグメント売上高



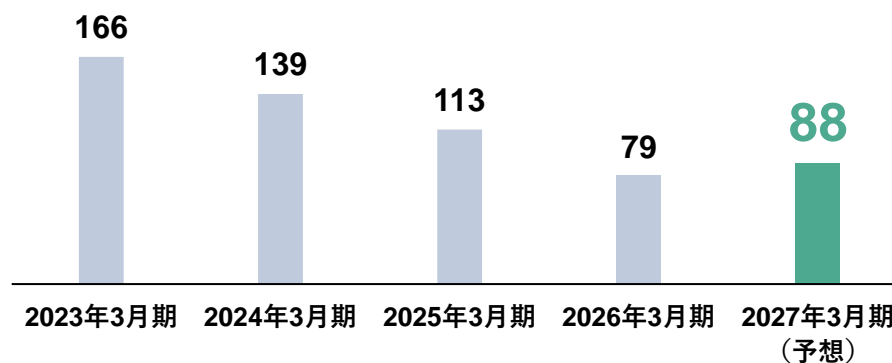
## セグメント営業利益



## アドバンストマテリアルズ事業部門 売上高

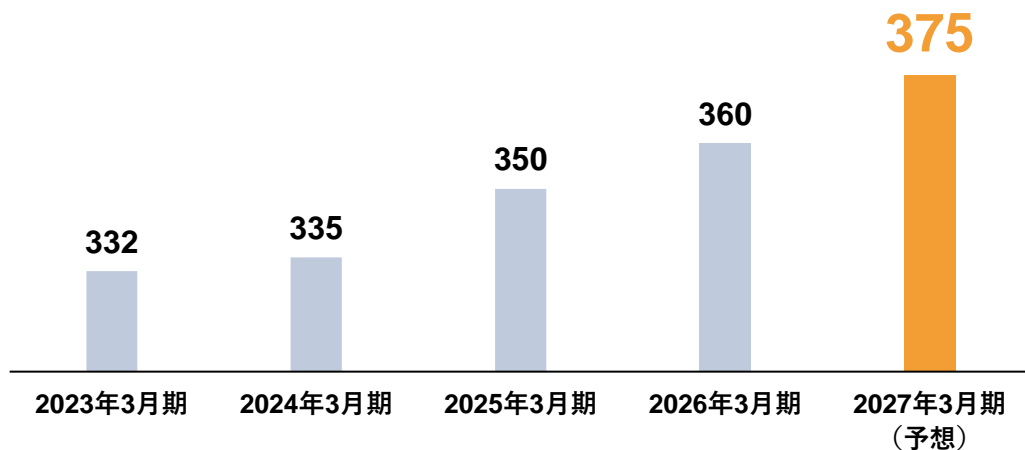


## オプティカル材事業部門 売上高

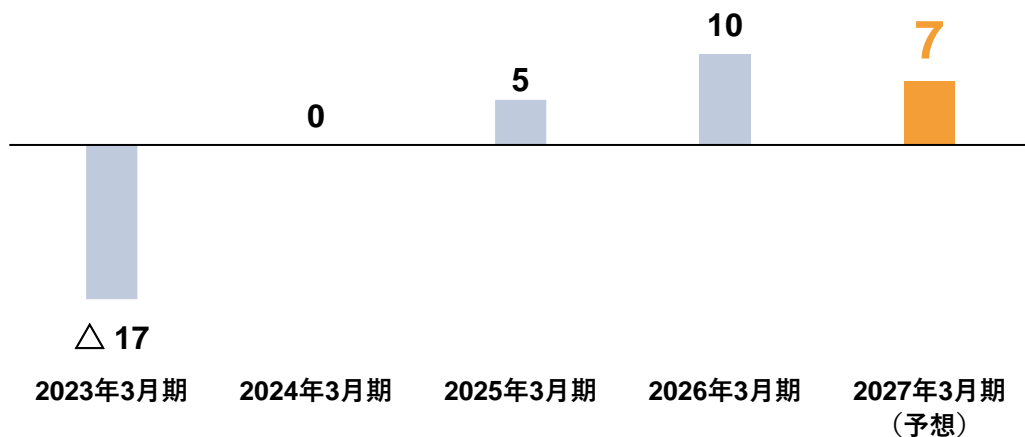


(単位：億円)

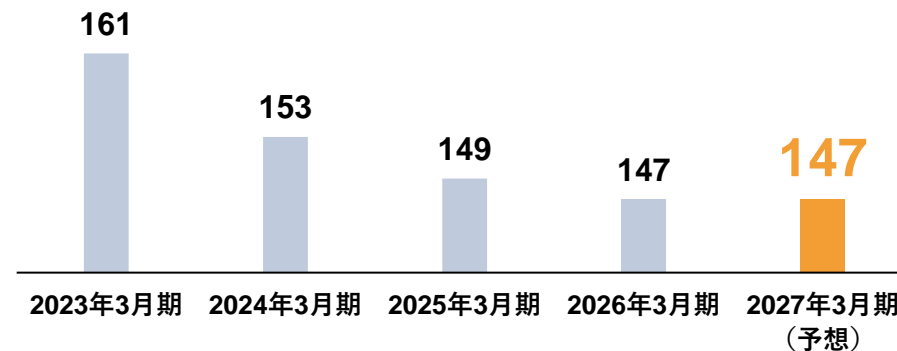
## セグメント売上高



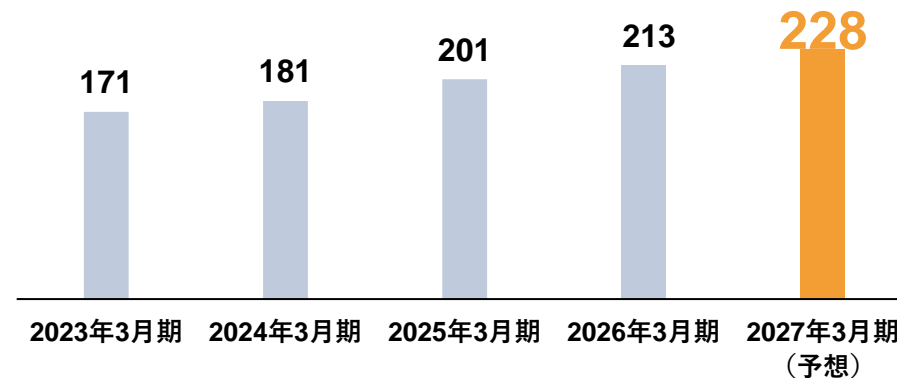
## セグメント営業利益



## 洋紙事業部門 売上高



## 加工材事業部門 売上高



# 04

## 株主還元

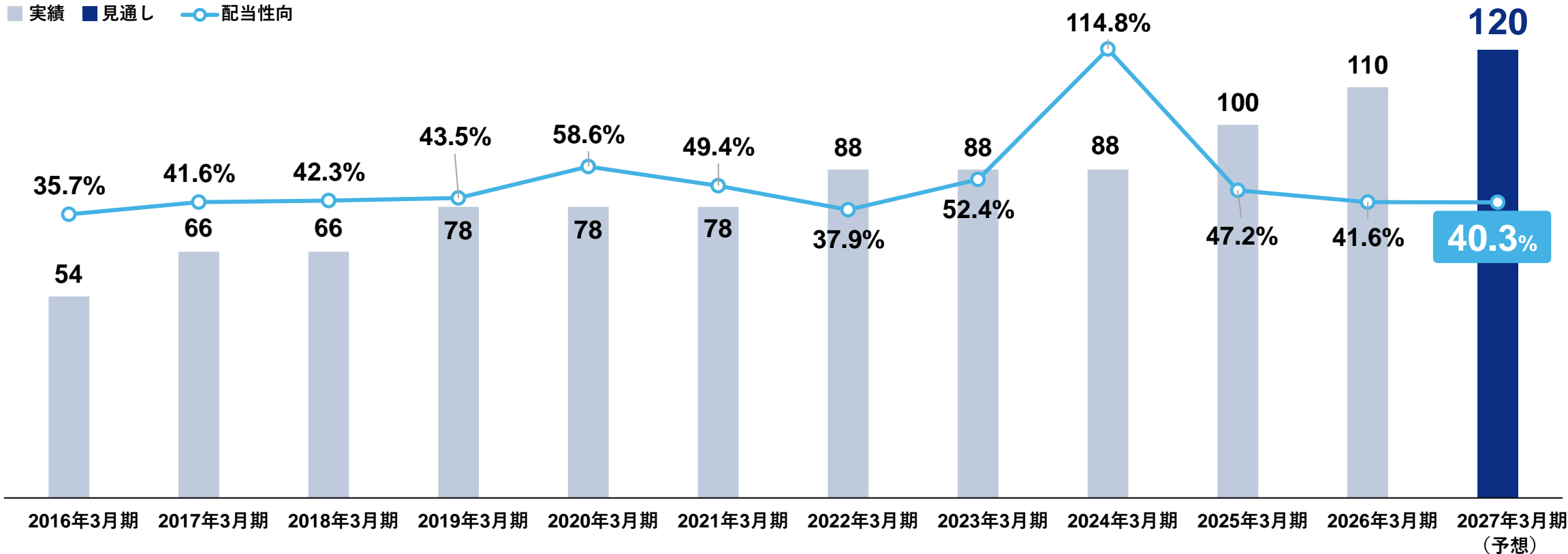
■ 1株当たり配当金推移

(単位：円)

2024年3月期より配当方針を変更

- ・ 中期経営計画「LSV 2030-Stage 2」最終年度である2027年3月期までの4年間は原則として減配しない
- ・ 配当性向40%以上またはDOE（株主資本配当率）3%を目途に配当を実施

■ 実績 ■ 見通し ○ 配当性向



# 05

## 長期ビジョン、 中期経営計画

名称 LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030（略称：LSV 2030）

期間 2021年4月～2030年3月

基本方針 イノベーションによる企業体質の強靱化と持続的成長に向けた新製品・新事業の創出を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献する

- 重点テーマ
1. 社会的課題の解決
  2. イノベーションによる企業体質の強靱化
  3. 持続的成長に向けた新製品・新事業の創出

2021年

2030年

2030年3月期 財務指標

売上高営業利益率

12%以上

ROE（自己資本当期純利益）

10%以上

**LSV 2030**  
LINTEC SUSTAINABILITY VISION

中期経営計画 LSV 2030 - Stage 1

中期経営計画 LSV 2030 - Stage 2

中期経営計画 LSV 2030 - Stage 3

■ Stage 2 最終年度（2027年3月期）経営目標

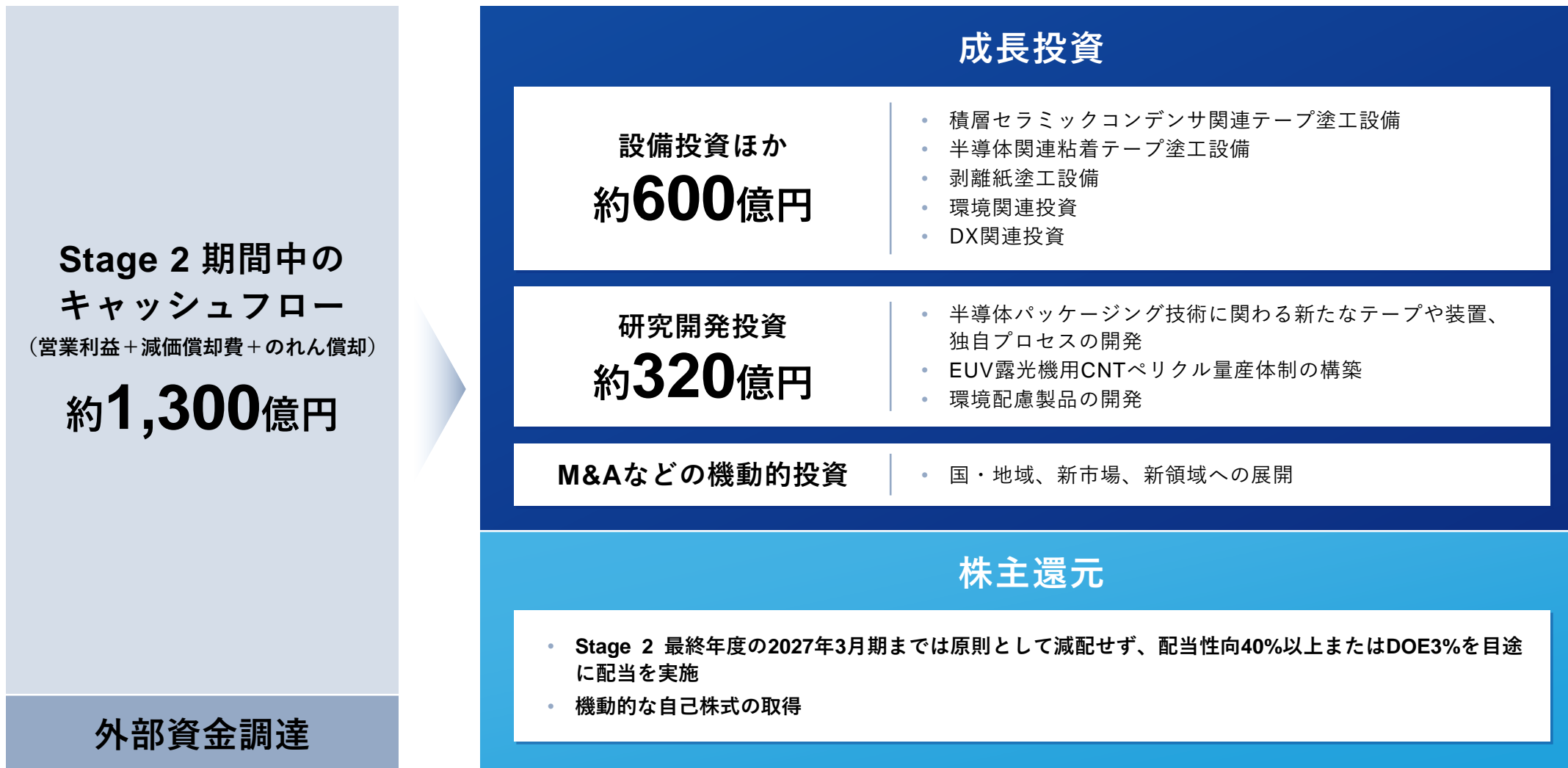
期間 2024年4月～2027年3月

（単位：億円）



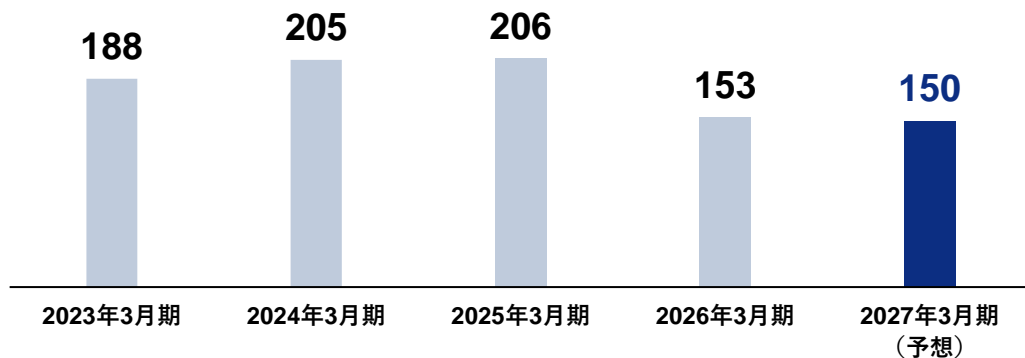
	2024年3月期	2027年3月期	増減額（増減率）
売上高	2,763	<b>3,150</b>	+387 (+14%)
営業利益	106	<b>255</b>	+149 (+141%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	52	<b>180</b>	+128 (+246%)
売上高営業利益率	3.8%	<b>8%以上</b>	-
ROE (自己資本当期純利益率)	2.3%	<b>8%以上</b>	-

- 財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効活用する

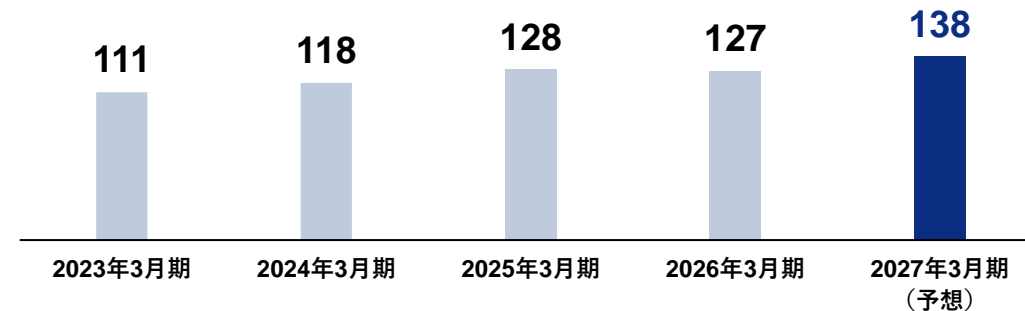


■実績 ■見通し (単位: 億円)

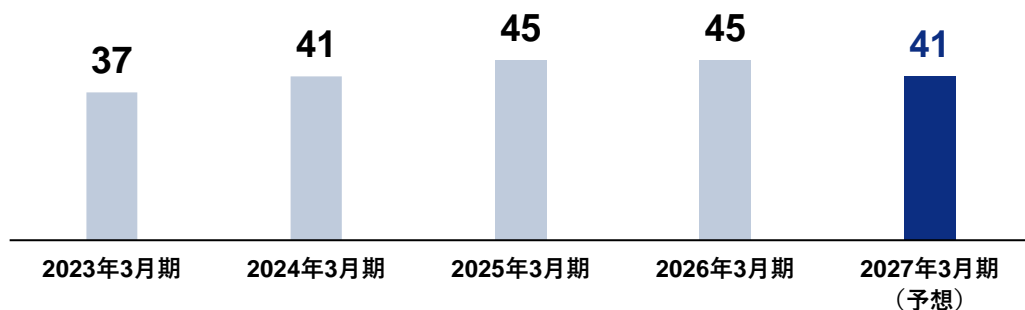
## 設備投資額



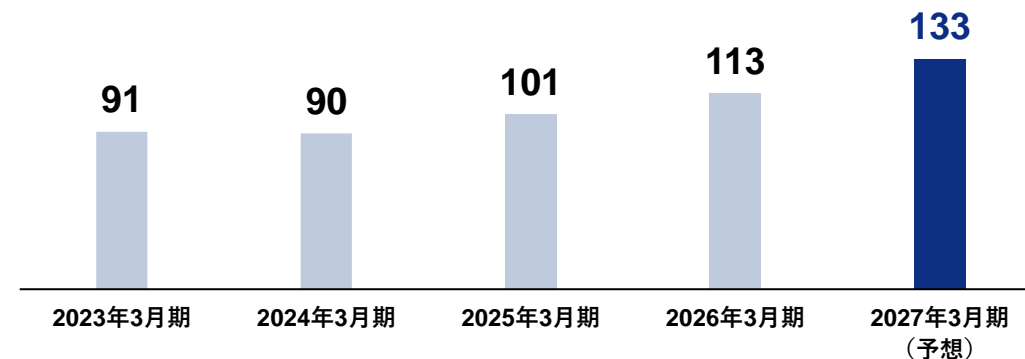
## 減価償却費



## のれん償却額



## 研究開発費



# リンテック株式会社 広報・IR室

〒173-0001 東京都板橋区本町23-23

TEL.03-5248-7741



IRに関するお問い合わせはウェブでも受け付けております

<https://www.lintec.co.jp/contact/form23/>

本資料に掲載されている業績見通しに関する内容につきましては、本資料の作成日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。したがって、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって異なる可能性があります。

## IRメール配信サービスのお知らせ

当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。

配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



IRメール配信サービスのご登録はこちらから

[https://www.lintec.co.jp/ir/ir\\_mail/](https://www.lintec.co.jp/ir/ir_mail/)